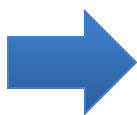




プレセデックス静注液200 μ g「ファイザー」の 後発品への切替について

プレセデックス静注液200 μ g
「ファイザー」
(先発品・バイアル製剤)

デクスメトミジン静注液200 μ g/50mL
シリンジ「ニプロ」
(後発品・プレフィルドシリンジ製剤)



2019年6月の薬事委員会にて、デクスメトミジン製剤の後発品への切替が承認されました。今回、後発品への切替の準備が整ったことから、オーダが変更となりました。

バイアル製剤からプレフィルドシリンジ製剤への変更となりますので、以下で同一組成になります。オーダ時にはご注意ください。

プレセデックス静注液200 μ g 1V + 生食50mL
= デクスメトミジン静注液200 μ g/50mLシリンジ 1本



プレセデックス静注液200 μ g 1本+
生食50mL 1本が同一組成です

※後発品は小児への適応がありませんので、小児への先発品（プレセデックス静注液200 μ g「ファイザー」）の使用時は、薬剤部へご連絡ください。